技術展示コーナー

小 高 猛 司 (こだか たけし)

展示部会長, 名城大学理工学部建設システム工学科 教授

1. はじめに

名古屋大会の技術展示コーナーにご出展いただきました皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、準備段階においても大変多くの皆様にご尽力賜りました。関係各位に深く感謝いたします。

本大会では、66 機関、71 ブースという大変たくさんの出展をいただき、盛大に技術展示コーナーを実施することができました。本当にありがとうございました。

2. 技術展示コーナーの役割

現状の研究発表会のシステムにおいては、技術展示コーナーは大きな収入源としての重要な役割を担っています。最近では、一般講演の他にも数々の DS や技術者交流セッション等の特別企画が増えており、会場費、スタッフ費等の支出も増えております。しかしながら、開催都市によって変動があるとはいえ、主たる収入を生み出すべき一般講演の発表件数は長期低落傾向にあると思われれます。さらに、多額な本部事務経費も全体予算から捻出することが求められます。したがって、「健全」な予算案を作るためには、技術展示コーナーのような大きなバッファとなる部分がどうしても必要となり、本大会においても、当初予算は技術展示コーナーの収入見込みがあつてこそ成り立っております。しかしながら、実施するからには予算合わせが目的のイベントにだけはしてはならないと強く決意し、今回の技術展示コーナーでは、出展者の皆様に満足していただけることを第一目標にいたしました。今回使用したイベントホール以外にも技術展示コーナーが実施可能な小さな会場もありましたが、見学者が少なく出展者の皆様に不満が残るような事態だけは避けるべきと思ひ、来場者増の方策を色々試すことのできるイベントホールでの開催に踏み切りました。いくら会場が大きくても、99 年東京大会、2002 年大阪大会のような 100 を超すブース数など望むべくもなく、今回の目標ブース数は 60 と決めました。

3. イベントホールに如何に人を集めるか

本大会では、イベントホールに広い休憩スペースと少し贅沢とも言えるドリンクコーナーを設けました。そこまでは計画当初から考えておりましたが、大会直前になってようやく目標ブース数を上回り、ひと安心してから、今度は如何に出展いただいた皆様に恩返しするかを検討

し始めました。最大の恩返しは言うまでもなく、イベントホールに一人でも多くの来場者を集めることであります。大会期間中のなるべく早い時期に、多くの来場者に充実した休憩スペースやドリンクコーナーの存在を知っていただければ、多くの方にリピーターになっていただけると考えておりました。そこで、初日の夕方に「ウエルカムビア&絶品名古屋名物」と銘打ったイベントを強行いたしました。そこでは、龍岡学会長と浅岡実行委員長にお越しいただき、それぞれ開会のご挨拶と乾杯のご発声を賜るとともに、出展者の皆様への感謝のお言葉もいただくことができました。屋台の雰囲気良かったためか、食物は非常に好評で 30 分弱で無くなってしまいました。90 分の時間一杯まで来場者や出展者の皆様にはご歓談いただくことができました。その効果もあつてか、2 日目以降もイベントホールに常に多くの来場者にお越しいただくことができました。このご時世に時代錯誤な派手なイベントをやり、けしからんと思われた会員もいらっしやるかもしれません。しかし、すべては技術展示コーナーへの来場増のための方策であり、費用対効果は十分あつたのではないかと考えております。

その他の試みとしては、名古屋市から無料でご提供いただきました「名水」をよく冷やして、毎朝受付前で技術展示の目録とともに手渡し配付をいたしました。また、イベントホールの入口には、中部地方整備局を通して国土地理院からお借りいたしました 3D 立体地図を設置し、会場内への誘導に利用させていただきました。

3. おわりに

アンケートの結果によると、大半の来場者には技術展示コーナーが役に立ったと思っただけなようです。出展者の皆様にも概ね満足していただけたようですが、ブースに寄られる来場者が少なかったとコメントされた出展者もおられ、まだまだ工夫すべきであったと反省点は尽きません。また、出展料についても、研究発表会の中での技術展示のあり方とも関連させて、今後真剣に検討すべき時期にきていると痛感しております。アンケートの結果は <http://civil.meijo-u.ac.jp/lab/kodaka/pdf/tenji.pdf> にて詳細に掲載しておりますので是非ご覧下さい。最後になりましたが、技術展示コーナーは、名城大学の日比義彦准教授、JR 東海コンサルタンツの大嶽信二郎氏の 2 名のスタッフと名城大の 3 名の学生スタッフとともに運営いたしました。献身的なご協力に感謝いたします。